

C-31	救急に役立つ応急手当						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
幼児児童生徒の突然の事故や病気などに対する新しい知識や、AEDによる除細動の正確な手順を学ぶ研修を通して、正しい応急手当の仕方について理解を深める。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、養護教諭、栄養教諭、講師（臨時）、非常勤講師、実習助手、寄宿舍指導員、幼稚園教諭、保育士、保育教諭 30名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容				指標における主な項目		
5/19 (月) 10:00～16:15	○応急手当の基礎(講義) 秋田大学大学院医学系研究科 准教授 奥山 学				マネジメント能力④		
	○応急手当の実際(講義・実習)				マネジメント能力④		
	○AEDを用いた応急手当の実際(講義・実習)				マネジメント能力④		
携 行 品	応急手当等の実技に適した動きやすい服装、屋内用シューズ						
備 考	当センターへの受講申込とは別に、 <u>5月8日（木）までに①②の内容をメールで必ず送ること。</u> ①本人氏名（ふりがな）※普通救命講習Ⅱの修了証発行に使用されます。 ②緊急時の応急手当や対応方法についての講師への質問 ※任意とする。 〔送付先〕 E-mail ckyk@akita-c.ed.jp						
担当者からの メッセージ	救急医療の専門医や消防署員を講師に迎え、学校や園での救命救急場面に必要な知識や技術を身に付けることができます。また、受講者から事前に質問を受け付け回答を講義内容に取り入れ助言いただきます。講義・実習、それらを踏まえた確認テストを経て、普通救命講習Ⅱの資格を取得することができる講座です。						

連絡先：教科・研究チーム TEL (018)873-7203